



## 2024年3月期第2四半期 決算説明資料

---

林兼産業株式会社

2023年11月14日

# 連結損益計算書の概要



(単位:百万円)

	2023年3月期 第2四半期累計	2024年3月期 第2四半期累計	
		実績	前年増減
売上高	20,873	23,749	2,875
営業利益	55	746	690
経常利益	101	852	751
親会社株主に帰属 する四半期純利益	11	625	614

## 前年同期との主な変動要因

売上高	機能性素材や養魚用飼料の販売数量増加、および原材料価格高騰に対応するために 行った食品・飼料の価格改定により増収
営業利益	価格改定や収益性を重視した製造および販売に努めたことによる利益率改善により増益
経常利益	営業利益の増加により増益

# セグメント別の売上高・営業利益



(単位:百万円)

	2023年3月期 第2四半期累計	2024年3月期 第2四半期累計	
		実績	前年増減
<b>売上高</b>	20,873	23,749	2,875
食品事業	11,001	11,070	69
飼料事業	9,851	12,657	2,806
その他の事業	21	21	0
<b>営業利益</b>	55	746	690
食品事業	57	455	398
飼料事業	514	834	319
その他の事業	16	16	0
消去又は全社	▲533	▲560	▲27

# 連結貸借対照表の概要



(単位:百万円)

	2023年3月期末	2024年3月期 第2四半期末	
			増減
流動資産	13,988	18,247	4,258
固定資産	12,767	13,170	403
資産合計	26,755	31,418	4,662
流動負債	11,437	15,322	3,885
固定負債	5,386	5,392	6
負債合計	16,823	20,715	3,891
純資産合計	9,932	10,703	771
負債純資産合計	26,755	31,418	4,662

# 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

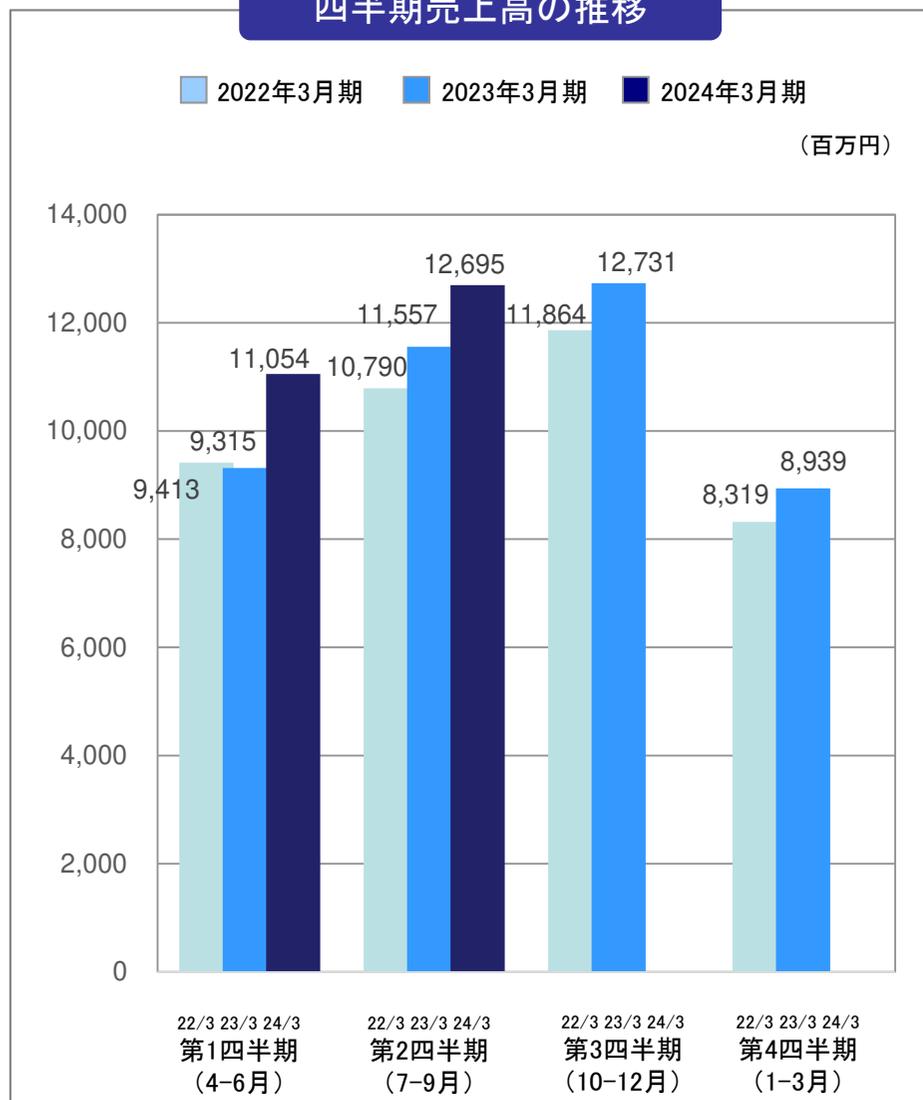


(単位:百万円)

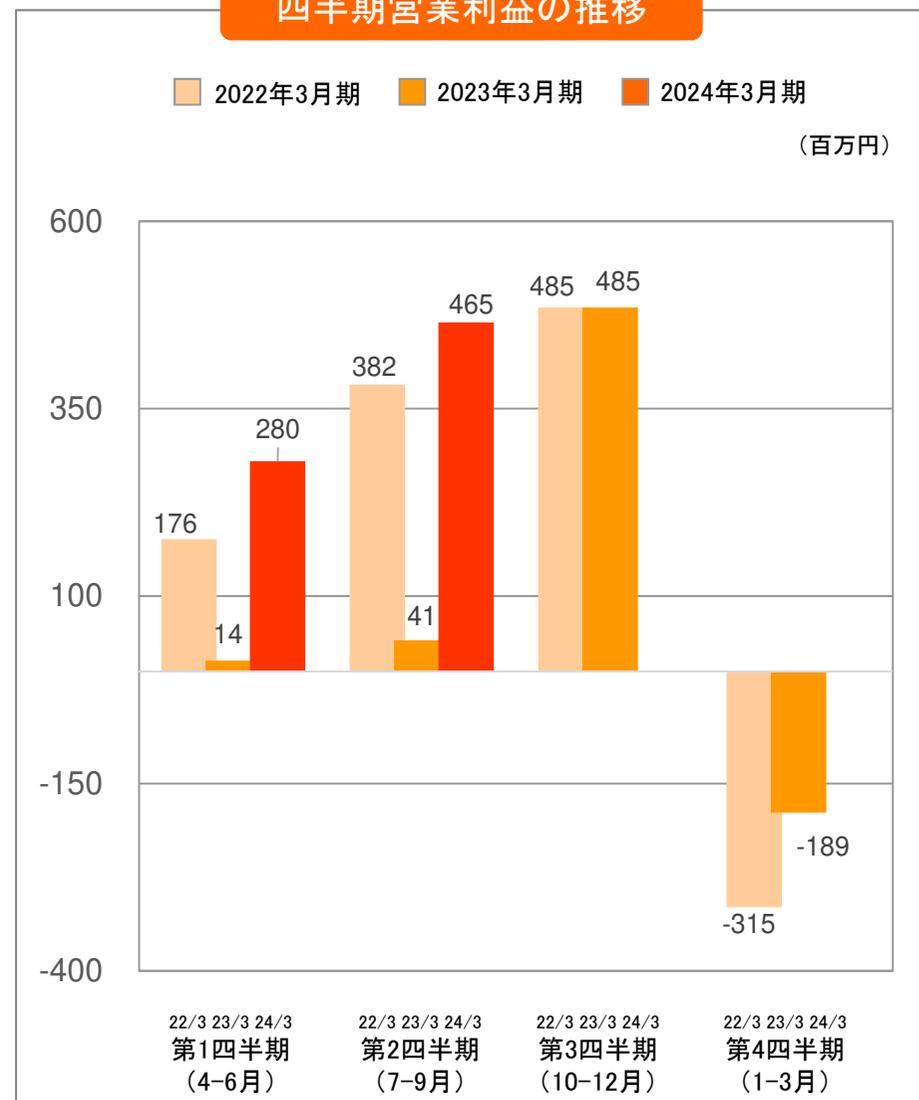
	2023年3月期 第2四半期累計	2024年3月期 第2四半期累計	
			前年増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲2,211	880	3,091
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲323	▲279	43
フリー・キャッシュ・フロー	▲2,534	601	3,135
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,655	▲344	▲1,999
現金及び現金同等物の増減額	▲877	256	1,134
現金及び現金同等物の期首残高	1,942	562	▲1,379
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,064	819	▲245

# 四半期連結業績の推移（売上高・営業利益）

## 四半期売上高の推移

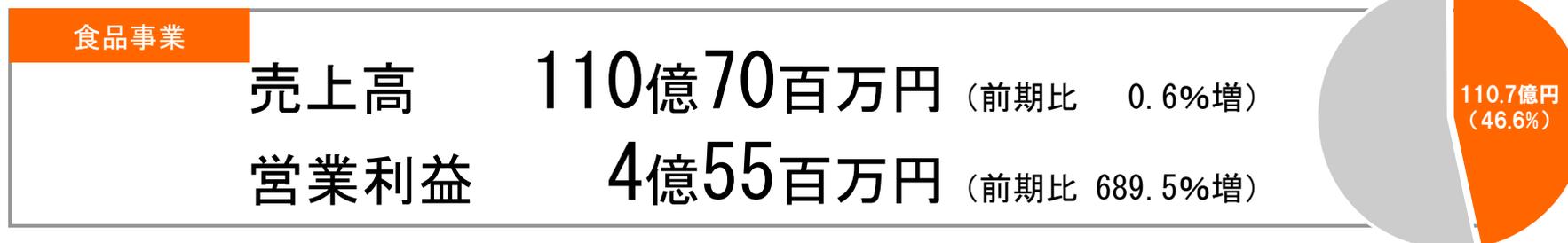


## 四半期営業利益の推移



# セグメントの状況（食品事業）

概況：原材料価格高騰に対応した価格改定や、機能性素材エラスチンの販売数量増加などにより増収増益

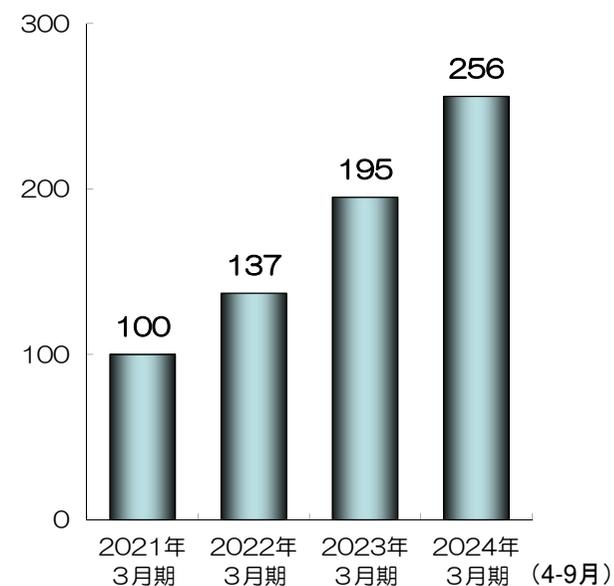
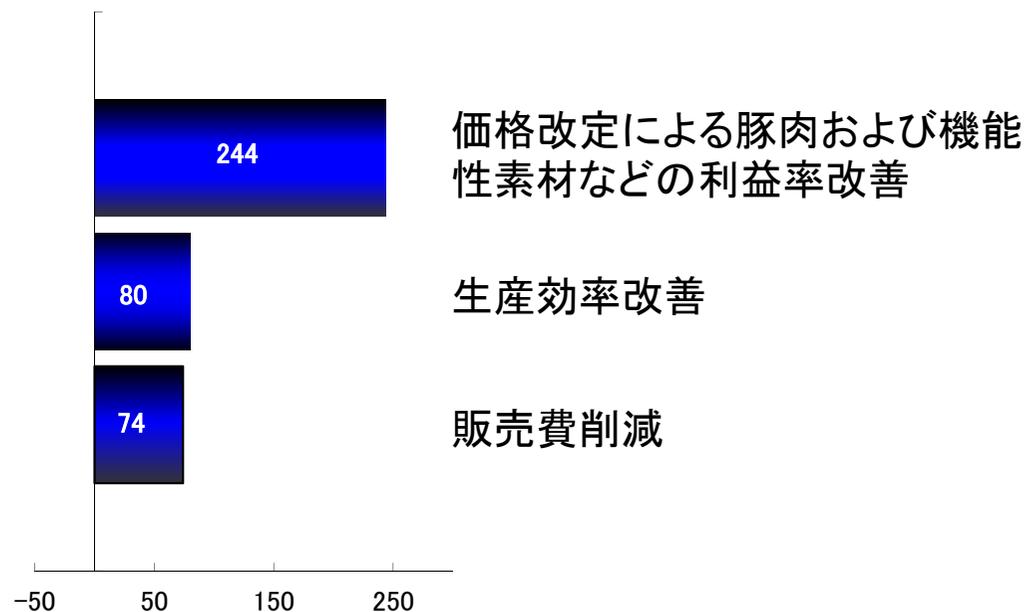


## 営業利益の増減要因

営業利益の増加 3億98百万円

機能性食品素材の販売数量推移  
(2021年3月期を100とする)

(単位: 百万円)



# セグメント施策の進捗状況（食品事業）

## 食品事業

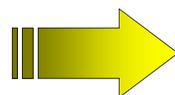
### 施策

### 状況

#### 〈機能食品部門〉

機能性素材の販売拡大

研究・開発の拡充



・機能性食品素材の販売数量増加（前期比 31.0%増）

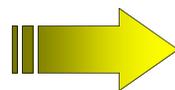
・臨床試験でヒシエキスによる頭髪および頻尿の改善効果確認

#### 〈加工食品・食肉部門〉

販売の効率化と基盤の強化

「霧島黒豚」の販売強化

都城工場の収益力強化



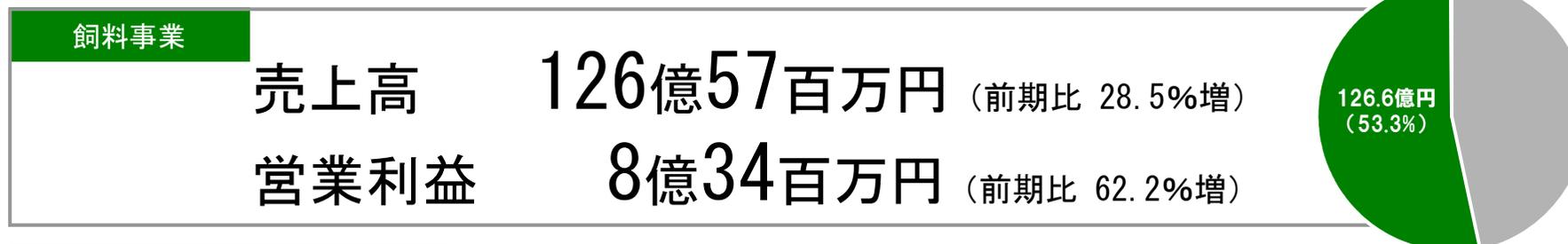
・原材料価格高騰対応のための価格見直しと収益性重視の販売および、生産効率向上に向けた工場での取組みを実施

・霧島黒豚のブランディング強化のため、販売チャネル多角化に向けた取組みを実施中

・利益率の高い特定加熱製品（ローストビーフ）、食肉惣菜（ハンバーグ）の生産拡大に向け、主要量販店、生協との取組みを強化

# セグメントの状況（飼料事業）

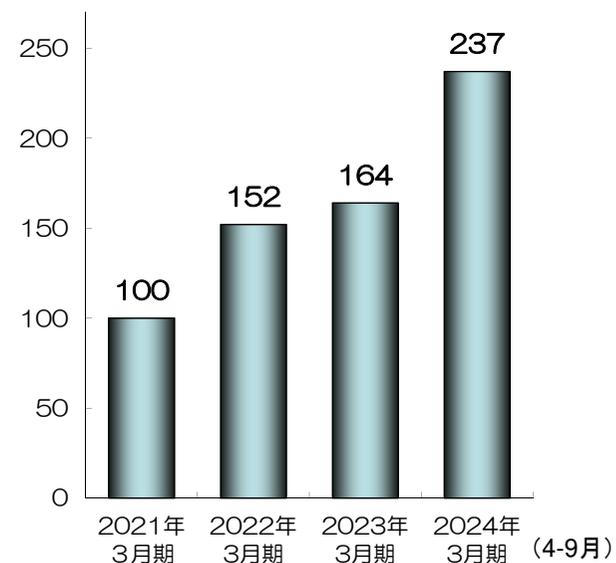
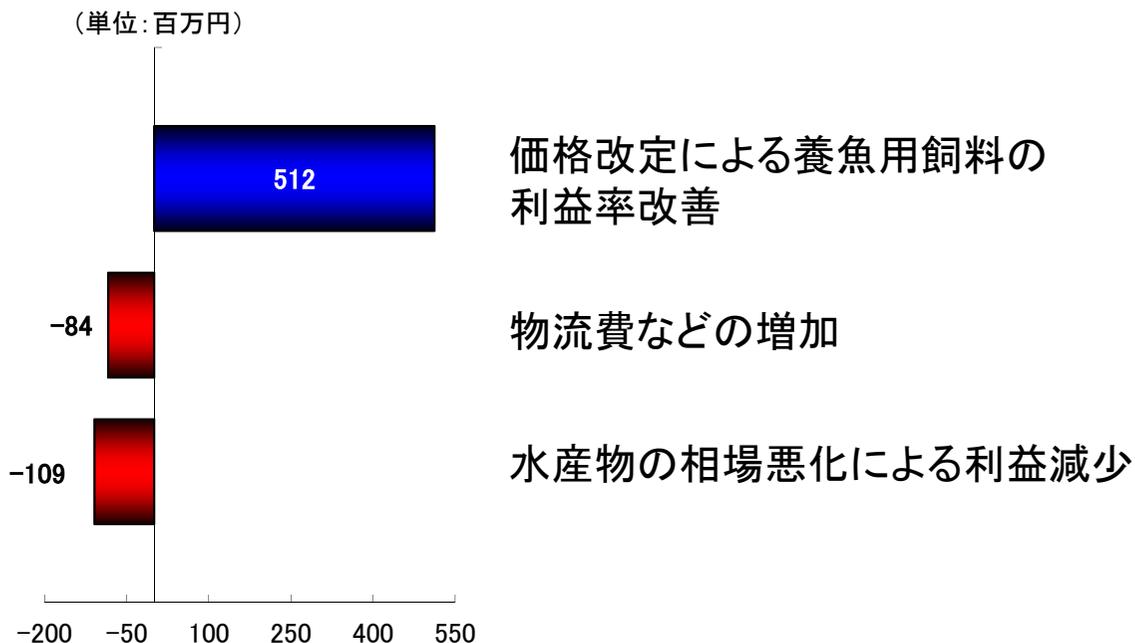
概況：原材料価格高騰に対応した価格改定や、養魚用飼料の販売数量増加などにより増収増益



## 営業利益の増減要因

営業利益の増加 3億19百万円

養魚用飼料輸出数量推移  
(2021年3月期を100とする)



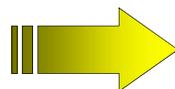
# セグメント施策の進捗状況（飼料事業）

## 飼料事業

### 施策

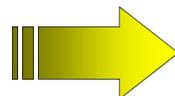
### 状況

#### 国内販売の拡大



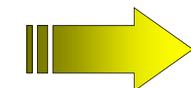
- ・育成用飼料の品質改善、仕上げ用飼料の定着化により大手養殖場への直販拡大（前期比39.6%増）
- ・アクアメディカル・ラボによる難治性魚病（ノカルジア症他）の治療法開発と野外診療による養殖場への疾病サポート実施

#### 海外販売の拡大



- ・パートナーシップ強化により養魚用飼料の海外向け販売数量増加（前期比 44.6%増）

#### 効率的な生産体制の構築



- ・太幸物産(株)を活用した生産効率化への取り組みを実施

# 連結損益計算書



(単位:百万円)

	2023年3月期 第2四半期累計		2024年3月期 第2四半期累計		前年増減		主な要因
	実績	売上高比	実績	売上高比	実績	売上高比	
売上高	20,873	100.0%	23,749	100.0%	2,875		
売上原価	18,453	88.4%	20,774	87.5%	2,320	▲0.9%	
販売費及び一般管理費	2,364	11.3%	2,228	9.4%	▲135	▲1.9%	
営業利益	55	0.3%	746	3.1%	690	2.8%	売上高営業利益率2.8ポイント改善
受取配当金	60		73		12		
その他	89		123		33		
営業外収益合計	149		196		46		
支払利息	58		51		▲6		
その他	45		38		▲6		
営業外費用合計	103		89		▲13		営業外損益は前期から61百万円改善
経常利益	101	0.5%	852	3.6%	751	3.1%	
特別利益合計	1		1		▲0		
特別損失合計	52		3		▲49		前期：台風災害による損失44百万円
税金等調整前四半期純利益	50		850		800		
法人税等合計	39		225		186		
親会社株主に帰属する四半期純利益	11	0.1%	625	2.6%	614	2.5%	

(単位:百万円)

	2023年3月期 実績	2024年3月期			
		第2四半期累計実績	前年増減	通期計画	前年増減
売上高	42,544	23,749	2,875	43,000	455
営業利益	351	746	690	740	388
経常利益	473	852	751	840	366
親会社株主に帰属する 当期純利益	333	625	614	620	286

## 2024年3月期 通期の見通し

今後の見通しにつきましては、原材料価格やエネルギーコストの高騰ならびに為替相場リスクや輸出情勢の変化など、依然として厳しい経営環境が続くと考えられます。こうしたなか、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は概ね予想どおり推移していることから、2023年5月12日に発表した通期の業績予想に修正はありません。今後経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

# 配当の状況



	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 15.00	百万円 132	% 39.7	% 1.3
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 —						
2024年3月期(予想)			円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 15.00		% 44.0	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正はありません。

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

IRお問い合わせ先 林兼産業株式会社 総務部 TEL 083-266-0210  
IRサイト <https://www.hayashikane.co.jp/ir/>